

# 農村地域の環境保全に向けて (環境保全調査等の概要)

農村振興局鳥獣対策・農村環境課  
農村環境対策室

令和 8 年 5 月

**農林水産省**

# 農村地域の環境

- 農村は、食料を生産するために農業が営まれてきた場であるとともに、農業者を含めた住民の生活の場として、長年、農村コミュニティにより形成・保全されてきた二次的自然環境から成ります。
- 食料が安定的に生産されるだけでなく、地域や生物多様性の保全、美しく安らぎ空間となる景観の形成、文化の伝承、情操教育といった多岐にわたる恩恵がもたらされています。
- 一方で、地球温暖化に伴う気候変動が、食料生産の場や農村で生活する人々の生活基盤を脅かす重大な問題となるなど、環境が農村に与える影響にも対応が必要です。

## 【農村環境を構成する主要な要素】

基本的な要素である「農地」、「農業用水」と、これらを基盤として形成されている「生態系」、「景観」、及び人的要素である「農村コミュニティ」に分類できます。さらに、今後、地球温暖化が農村環境に多大な影響を及ぼすことを踏まえ、「地球環境」もこれらを取り巻く重要な要素となります。

## ■ 多様な生物のすみかとしての農村



水田等の農地、用排水路、ため池といった多様な環境が、農業の営みを通じて有機的に結合し、多くの生物を育む環境や良好な農村景観を保全・形成しています。

## ■ 気候変動の影響



気温の上昇・降水量の減少による影響



降水量の増加による影響

# 農村地域の環境保全の推進のための調査

## 農林水産省生物多様性戦略（令和5年3月改定）

### ○生態系ネットワークの保全の推進

ほ場整備事業等において、水田や水路、ため池等からなる生態系ネットワーク保全のため、保全対象種を設定し、その生活史・移動経路に着目・配慮した魚道やビオトープなどの生態系配慮施設の整備を推進

## 食料・農業・農村基本計画(令和7年4月)

環境と調和のとれた食料システムの確立に向けて、気候変動対策と併せて、生物多様性の保全を図ることが重要

## 土地改良長期計画（令和7年9月）

SDGsやパリ協定等を踏まえ、気候変動、生物多様性の保全等の地球規模の課題に取り組む。調達、生産、加工・流通及び消費のサプライチェーン全体において、環境負荷低減の取組を進める。

## 環境保全調査・基礎技術調査

農業農村整備における生物多様性の保全技術の確立など、環境との調和に配慮した事業の推進に貢献する調査を実施します。

最新の科学的知見を踏まえた土地改良事業における環境への影響の予測及び評価に関する調査・検討を実施します。

## 農業農村整備事業の推進

農村地域の環境の保全や環境影響への対応のための調査結果は、農業水利施設における生物生息環境保全、外来種被害対策などの技術資料や手引き等に取りまとめ、環境との調和に配慮した調査・計画・設計・施工等を進めるための基準や技術指針等に反映します。